

記入例

第6号の3様式

(表)

県親医療費助成申請書（入院時生活療養費用）

年 月 日

長岡市長様

各項目について記入してください。

申請者 住所 長岡市大手通1-4-10
氏名 長岡 太郎

下記のとおり、医療費の助成を申請します。

受給者番号	0123456	保険者名	長岡市
受給者氏名	長岡 太郎	記号・番号	長岡 0001234567
		被保険者氏名	長岡 太郎
受診 医療機関名	〇〇総合病院	受診年月	30年 3月
振込指定 金融機関	北越 銀行・信組 長岡市 支店 金庫・農協 役所 出張所	口座番号	1234567
		フリガナ	ナガオカ タロウ
		口座名義人	長岡 太郎

- 注 1 本紙は受診した月ごとに1枚必要です。
2 " 医療機関ごとに1枚必要です。

市町村確認欄（県親助成額単価×食事回数）

県親助成決定額 円

----- 以下は医療機関等に記入してもらおうこと。 -----

(年 月診療分)

所得区分等	標準負担額	食事回数(回)	金額(円)
適用区分オ・低所得者Ⅱ	ここから下は、医療機関等に記入してもらいます。		
低所得者Ⅰ			
低所得者Ⅰ（老齢福祉年金受給者）・境界層該当者	100円/食		
入院医療の必要性の高い者	210円・160円・100円/食		

様(受給者氏名)

上記の食事回数分の入院時生活療養費一部負担金を領収しました。

年 月 日

所在地
医療機関等 名称
氏名

- ※ 「入院医療の必要性の高い者」とは医療区分2又は3等の患者で入院時食事療養費標準負担額と同額の負担となる者です。該当する単価に「○」をつけてください。
※ 所得区分等(例：低所得Ⅱ)及び所得区分等に応じた食事回数等が明記されており、上記表の内容が確認できる領収書及び明細書を添付することで、医療機関等における記入を省略することができます。

第6号の3様式

(裏)

注意事項

1 助成申請額の計算方法

- (1) 入院時の生活療養に係る標準負担額については、保険者等から減額認定証の交付を受けている方が助成対象になります。
- (2) 申請額は入院時生活療養費標準負担額のうち、入院時食事療養標準負担額と同額(食材料費相当分)の金額となります。

入院時生活療養費標準負担額 (食材料費相当額)

低所得者Ⅱ	160円/食
低所得者Ⅰ	100円/食
低所得者Ⅰ(老齢福祉年金受給者)	100円/食
境界層該当者	100円/食

ただし、入院医療の必要性の高い者については

低所得者Ⅱ	210円/食
低所得者Ⅱ(90日を超える場合)	160円/食
低所得者Ⅰ	100円/食
境界層該当者	100円/食

- 2 不明な点は、市町村の担当窓口におたずねください。